

6.8. HULIしてしまったら

万一、HULIしてしまった場合は、最初に全員が無事であることを確認します。
一人がMANU、二人がそれぞれイアコに掴まります。

転覆した状態のままアマを風下側へ向けます。海岸近くで波が強いところでは、波と垂直にカヌーの向きを立てます。

イアコに掴まった二人がイアコに足を掛け、体重を乗せて一瞬でカヌーを起こします。

残りのパドラーはパドルなどの浮遊物を拾い集め、アマに掴まってカヌーから離れないようにします。

イアコに掴まっていた二人はすぐさまカヌーへ乗り込み、ベイラーを使って水を汲み出します。

水が少なくなったら、ステアが乗り込み、カヌーの向きなどをコントロールして安定させます。
出来るだけ早く残りのパドラーも乗り込んで、パドリングを再開し安全な場所へ移動します。